



特定看護師を養成し

質の高いチーム医療

特定行為研修センターで学ぶ

公立松任石川中央病院(白山市)は医療体制の充実へ特定看護師を養成しています。石井要看護師特定行為研修センター長兼外科部長から特徴などを聞きました。

タイムリーに医療行為 患者のメリット

特定看護師がいるメリットについて、石井センター長は「患者さんはタイムリーに医療行為を受けられます」と紹介します。特定看護師ならば難易度の高い診療の補助業務を、医師の到着を待たず、患者の症状に合わせ、タイムラグなく必要な処置ができるのです。

私たちは迫り来る超高齢化社会へ向け、より質の高いチーム医療の推進を図っています。そのため、定められた研修を修了することにより、これまで単独では出来なかった一定の診療の補助(Ⅱこれを特定行為と言います)を行える看護師(Ⅱ特定看護師)を養成しています。これまで多数の看護師が研修を修了

し、現場で活躍しています。多職種によるタスクシェア(業務の共同化)を実現し、地域医療のさらなる充実を目指す当院の取り組みを紹介します。

カテーテル挿入など38行為 どんな役割？

特定看護師が手順書に従って行うことができる診療の補助(特定行為)は21区分38行為あります。細い管「カテーテル」を腕

特定看護師とは

特定看護師は、通常なら医師の指示により行う医療行為を、あらかじめ示された手順書に従って行うことができます。手順書の範囲内であれば、医師の指示を待たずに診療の補助が可能になり、医療の質の向上につながる事が期待されています。

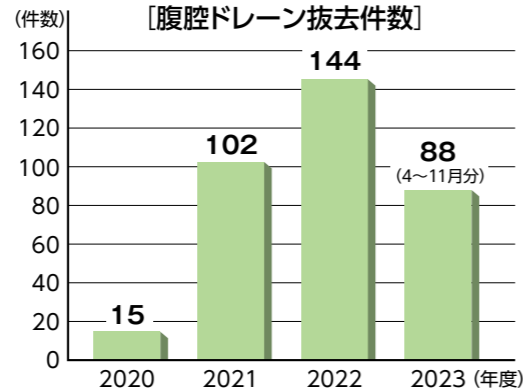


石井センター長

まで多数の看護師が研修を修了

特定行為の件数が増加

公立松任石川中央病院では特定看護師の増加を受け、年間に行う特定行為の件数が増えています。



患者にカテーテルを挿入する特定看護師

例えば、おなかの手術後に患部周辺の膿などを排出するため腹部に挿入する管「腹腔ドレーン」を特定看護師が抜く行為は、2020年度は15件で、現在は約10倍に増えています。治療に使う細い管「カテーテル」を腕の静脈から挿入し、血管伝いに心臓付近に届ける行為なども行っています。

17人が研修修了

公立松任石川中央病院は2017年に特定行為看護師の研修を始め、21年に看護師特定行為研修センターを設けて研修内容を充実させました。

当院で研修を修了した特定看護師は17人おり、このうち9人が当院に所属して幅広い分野で患者さんのケアや相談に当たっています。

残る8人は近隣の医療機関や訪問看護ステーションで勤務しており、住民の健康づくりに取り組んでいます。

特定看護師の紹介



樋口 陽子さん



小西 充子さん



岩田 真帆さん



小阪 昌代さん



長瀬 ゆかさん



宇都 佳奈さん



牧本 泰子さん



遠藤 瑞穂さん



小笠原 佐緒里さん

公立松任石川中央病院
白山市倉光3丁目8
Tel.076(275)2222

- ① 腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)
- ② 中心静脈カテーテルの抜去
- ③ 末梢留置型中心静脈注射用カテーテル(PICC)の挿入
- ④ 急性血液浄化療法における血液透析器または血液透析濾過器の操作および管理
- ⑤ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整、脱水症状に対する輸液による補正
- ⑥ 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時投与